

事業所名	こどもプラス三日月教室 児童発達支援		公表日		令和7年3月20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。			スペースは十分にとれている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。			児童の人数に応じた、職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			床のマットも変えて、だいぶフラットになり、身体を動かしやすくなった。活動スペースには物を置かないようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。			毎日の掃除や消毒を徹底している。出したものを片付けるなどを心掛けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。			全体での部屋を主に使い、個別の部屋には机、絵本を置き、静かな活動ができるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。			利用前、利用後にはしっかりと話し合いをしていきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			現在、児童発達の利用が無い。利用がある場合は年度末に自己評価をお願いし、ご意見があった場合には対応していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			申し送りノートを作り、その日いなかった職員にも、把握できるようにしていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			実地していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			外部研修、本部研修、振り返りを行うようにしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。			R.7.1月に公表済	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。			アセスメントをとり、話し合いをした上で計画を立てる。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			計画を立てる時には、必ず職員間で話し合いを行う。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。			話し合いを行う為、共有されている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			アセスメントを取ったうえで、様子を見て判断していきたい。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			利用児童に合った成長につながるような支援内容にしていく予定。関係機関やご家族ともしっかりと話し合った上で支援内容を考えていきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。			児童に合った活動、また好きな活動を取り入れながら全体で考えていきたい。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			様子を見て、興味のある物を取り入れ活動を決めていきたい。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。			児童は個別がほとんどになると思われる。その中でお散歩や朝、帰りの会などで集団を少しずつ楽しんできていきたい。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			その日の支援については、連携して行う事ができるようにしていきたい。 振り返りはもちろん全体で振り返る。その日いなかった職員にも必ず伝えていき、支援がバラバラにならないようにしていきたい。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。			記録はしっかり残り、気になる事は話し合い、児童の成長に繋げられるようにしていきたい。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			その子の成長に合わせて計画を見直していきたい。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。			基本的には児発管が参加しているが、児童の信頼している職員が参加する事もあると思われる。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			しっかりと連携していきたい。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			利用時の様子は小学校へ伝えていきたい。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			連携を図り支援をしていきたい。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			園と併用になると思われるため、児童自身、他の児童との交流はあると思われる。教室でも交流ができるように努めて行く。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			送迎時には、保護者へ児童の様子を伝えていく。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			自分達の知識分は伝えている。今後、専門的な方呼んで講話をして下さる方をお願いしていきたい。		
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。			契約時に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。			保護者様間に、しっかりと子どもの話しを聞き、子どもの様子を見たり、話しを聞いたりしながら計画を立てていきたい。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。			納得してもらい支援計画にサインをもらっている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。			モニタリング時にしっかりと話しを聞いていきたい。その他あるのであればいつでも相談に乗る事ができるようにしていきたい。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			誰もが楽しむことができるイベントを考え、話しやすい環境を作りたい。	

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。			相談等あればいつでも対応できるようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。			お便りやブログを通して発信していく。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。			注意していく。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。			していきたい。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			地域の方を招待するのは難しく、できるだけ地域行事に参加できるようにしたい。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			訓練をした際には、お便り等で周知していきたい。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。			児童の利用が無い為、やった事が無く、放デイの児童よりも綿密な企画を立てなければならぬと思っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。			保護者様に連れてきてもらうようにしている為、必ず確認するようにする。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			最初は、保護者様に尋ね、適切な対応を聞く。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			安全計画の中に訓練や研修、教室や車の安全点検などを入れている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。			周知していきたい。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。			小さなことでも、あった事を記載し再発防止に努める。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。			外部研修、内部研修を行い、適切に対応できるようにしている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			契約時に説明。計画にも記載する。		